

美しい農村の景観と生態系の保全が必要になっています

農業集落の混住化が進み、耕作放棄地が増加し、美しい農村の景観と多様な生態系への影響が懸念されます

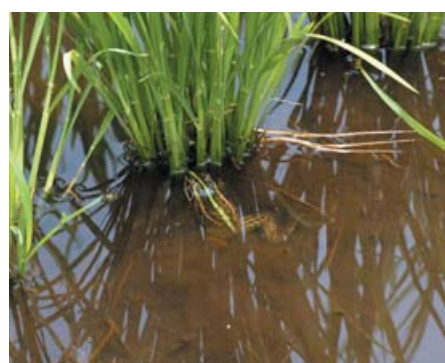
美しい日本の農村風景は、農業が営まれることによって維持されてきました。また、水田、水路のほか、雑木林、屋敷林等、人の適切な維持管理によって成り立つ多様な環境が水と生物のネットワークと多様な生態系を形成してきました。しかしながら、農業集落の混住化が全国的に進行し、集落単位で維持されてきた美しい農村景観が失われつつあります。また、耕作放棄地の増加によって、農業が営まれることで維持されてきた多様な生態系への影響も懸念されます。美しい農村の景観と生態系を保全するための取り組みが今必要になっています。



農村の景観 (写真提供: (社) 農村環境整備センター「砺波平野散居村」土肥尚彦)



水田を泳ぐニゴロブナ (写真提供: 滋賀県)

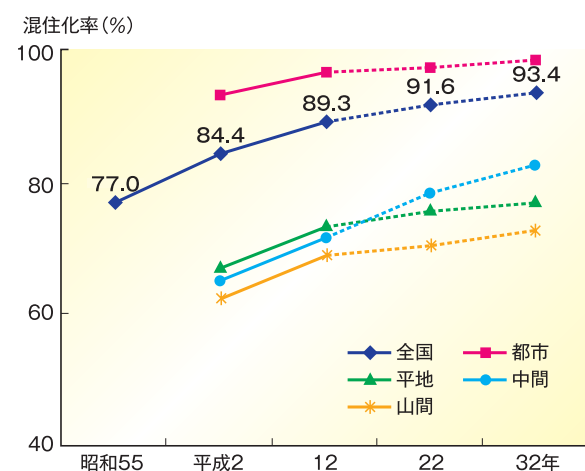


水田に生息するカエル (写真提供: (財) 自然環境研究センター)



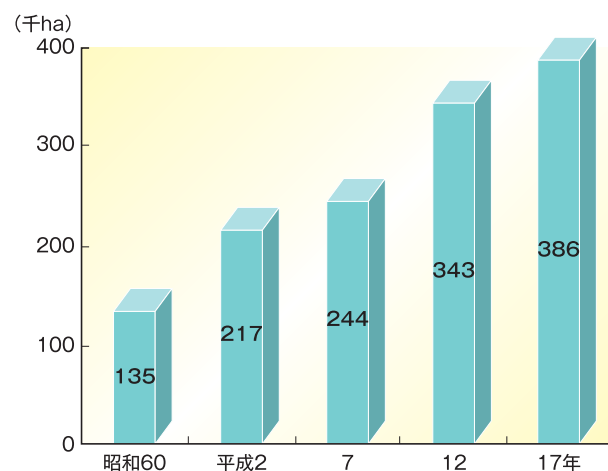
餌を探すアマサギ (写真提供: 埼玉県農林総合研究センター水田農業研究所)

混住化の推移と将来予測



資料: 農林水産省「世界農林業センサス」(組替集計)
注1: 平成32年の混住化率は、平成2年、平成12年センサスの農家人口データを用いてコーホート法により推計した平成32年の農家人口に基づき、農家・非農家戸数を推計して算出
注2: 混住化率とは、農業集落内の総戸数に占める非農家戸数の割合

耕作放棄地面積の推移



資料: 農林水産省「農林業センサス」(平成17年は概数値)

農業農村整備の実施に際しては、農村の景観と生態系への配慮の取り組みを推進しています

農業農村整備を実施し、農業の生産性が向上することで、耕作放棄地の発生は大幅に減少します。また、平成13年度には「土地改良法」が改正され、農業農村整備事業を行う場合には環境との調和への配慮が事業実施の原則として位置付けられました。この法改正を受けて、平成18年度には、「農業農村整備事業における生態系配慮の技術指針」、「農業農村整備事業における景観配慮の手引き」が作成され、農業農村整備事業における景観と生態系への配慮の取り組みが推進されています。



豊かな自然景観と歴史的史跡への配慮 「国営総合農地防災事業(常願寺川沿岸地区)」

富山県常願寺川周辺は、上流部が立山連峰を望む国立公園内に位置し、中流域は蛇行により早瀬や広い河原が形成されているなど、自然景観が豊かな地域です。また、16世紀以降に築造された水路などの水利施設の多くは、歴史的史跡となっています。このため、国営総合農地防災事業の実施においては、豊かな自然景観と歴史的史跡に配慮した整備を行っています。また、地域の取り組みとして標高差を利用した桜の開花リレーも行われています。



地域の景観に配慮して改修された常西合口用水路と桜並木



水の流れる白滝に見える横江頭首工 従前の景観を継承して作られる左岸連絡水路橋

クリークが育む景観と生態系への配慮 「国営総合農地防災事業(佐賀中部地区)」

佐賀県の佐賀平野一帯では、クリークと呼ばれる用水機能、排水機能、水の貯留機能を併せ持った水路が網の目のように張り巡らされ、この地方独特の美しい田園景観や、豊かな生態系の源となっています。このため国営総合農地防災事業では、地域の景観に配慮した排水機場の整備や、景観と生態系のネットワークに配慮した水路の整備などを進めています。常時水をたたえたクリークは、地域の景観や人々の生活、地域の生態系と密接に結びついています。



用水をたたえたクリーク



水草を回復させるとともに自然石を用いることで景観と生態系に配慮し、整備された水路